



## 平成22年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その2)

施策体系コード	5-3-3			事業名	交通結節点改善事業(JR白石駅周辺地区)		
<b>達成目標の状況</b>							
項目	18年度末 (現 状)	19年度末 (実 績)	20年度末 (実 績)	21年度末 (実 績)	22年度末 (予 定)	22年度末 (目 標)	
JR白石駅自由通路の整備	-	-	-	工事中	供用開始	供用開始	
<b>市民・企業等との協働の状況(市民・企業等の参加、支援、協力の状況)</b>							
<p>市民との連携、市民参加          当事業は、地域から寄せられた要望などを元に事業化した取り組みであり、また、地域の住民の方々と構成しているJR白石駅周辺地区街づくり協議会と連携しながら事業を推進している。</p> <p>企業等との連携・協働          [資金協力] (該当なし)          [人材協力] (該当なし)          [情報協力] (該当なし)          [その他の協力] JR・バス等の公共交通事業者と連携を図りながら整備やバリアフリー化を推進している。</p> <p>市民・企業等が参加しやすい環境づくり          定期的に事業の進捗状況や今後のスケジュールをJR白石駅周辺地区街づくり協議会へ報告・説明するなど、事業の推進に関する情報を地域の方々と共有することで、当該地区のまちづくりに参加しやすい仕組みとなっている。</p>							
<b>評価(成果)</b>				<b>課題</b>			
<p>平成22年度末に予定している橋上化駅舎及び自由通路の供用開始に向けて、予定通り事業を実施しており、当該地区の「アクセス性の向上」、「鉄道により分断されている南北市街地の一体化と活性化の向上」、「公共交通機関の乗り継ぎ利便性の向上」、「バリアフリー化」を図るべく事業を推進させることができた。</p>				<p>利用者の利便性を考慮した自由通路・駅前広場の活用ルールの作成や運用方法などについて、引き続きJR白石駅周辺地区街づくり協議会や関係機関と連携し、検討を進める必要がある。</p>			
<b>今後の事業の予定・方向</b>							
<p>22年度末(23年1月頃)に橋上駅舎の完成及び既存駅舎部分を除く自由通路(1期工事部分)の供用開始を予定しているが、その後も引き続き、23年度に自由通路の既存駅舎部分(2期工事部分)の供用開始や南北駅前広場の全面完成を予定していることから、今後も地域の住民の方々やJR北海道などの関係機関と連携しながら、事業の円滑な推進を目指す。</p>							

## 平成22年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その3) (単位:千円)

施策体系コード		5-3-3		事業名	交通結節点改善事業(JR白石駅周辺地区)		
<b>事業費の推移</b>							
項目		19年度	20年度	21年度	22年度	計	
計画	事業費	1,510,000	498,000	967,000	1,549,000	4,524,000	
	財源内訳						
	国・道支出金	650,000	191,600	405,100	687,200	1,933,900	
	市の債	529,000	207,000	365,000	540,000	1,641,000	
	その他	0	0	0	0	0	
	一般財源	331,000	99,400	196,900	321,800	949,100	
予算	事業費	1,510,000	627,000	850,420	1,272,000	4,206,000	
	財源内訳						
	国・道支出金	650,000	216,000	364,000	612,000	1,842,000	
	市の債	529,000	284,000	298,000	567,000	1,638,000	
	その他	0	0	0	0	0	
	一般財源	331,000	127,000	188,420	93,000	734,420	
実績	事業費	1,509,000	640,635	726,720	-	2,876,355	
	財源内訳						
	国・道支出金	656,500	231,000	294,000		1,181,500	
	市の債	518,000	277,000	268,000		1,063,000	
	その他	0	0	0		0	
	一般財源	334,500	132,635	164,720		631,855	
事業費の進捗率		(H19実績+H20実績+H21実績+H22予算事業費) / (計画事業費)				91.7%	
<b>計画との差異(予算・実績・事業内容・規模・時期等)</b>							
(全体)							
[19年度]							
[20年度]							
[21年度]							
[22年度]							
予算の計には、19年度から20年度への繰越分(45,000千円)及び21年度から22年度への繰越分(8,420千円)を含まない。							